



2021年8月12日

各位

会社名 株式会社 I n e
代表者名 代表取締役社長 大西洋平

(コード番号：4933 東証マザーズ)
問合せ先 経営管理本部長 佐藤 洋志
電話番号 06-6443-0881

2021年12月期第2四半期連結業績予想と実績との差異及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年5月14日に公表いたしました2021年12月期第2四半期（累計）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2021年5月14日に公表いたしました2021年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異

(2021年1月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,000	百万円 220	百万円 200	百万円 180	円 銭 20.85
実績値 (B)	14,322	1,588	1,562	906	104.58
増減額 (B-A)	2,320	1,366	1,362	726	—
増減率 (%)	19.3	620.9	681.0	403.3	—
ご参考：前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	10,527	414	369	251	34.22

2. 2021年12月期通期連結業績予想の修正

(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 25,700	百万円 1,650	百万円 1,600	百万円 920	円 銭 106.54
今回発表予想 (B)	28,000	2,000	1,900	1,050	120.60
増減額 (B-A)	2,300	350	300	130	—
増減率 (%)	8.9	21.2	18.7	14.1	—
ご参考：前期実績 (2020年12月期)	23,363	1,512	1,389	905	123.20

3. 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間における第2四半期の連結業績予想値と実績値との差異理由は以下のとおりであります。

売上高につきましては、BOTANISTにおけるリニューアルの影響や SALONIA や NICOLESS、CHILL OUT などの各ブランドでの積極的なプロモーション実施等による売上高への影響に不確定要素があったことから一定のリスクを見込んでおりましたが、各ブランドにおいて認知及び配荷向上の効果が寄与したことで、各ブランドの販売が伸長しました。

営業利益につきましては、各ブランドの販売伸長に加え、共通資材化によるコスト適正化に伴う原価率の改善や棚卸資産評価損の減少に取り組むことにより、営業利益率が大幅に改善いたしました。

以上の結果、第2四半期連結累計期間における売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも増加しました。

通期につきましては、第2四半期連結累計期間までの各ブランドの伸長実績を考慮し、BOTANIST 及び SALONIA の主力ブランド及び NICOLESS、DROAS、CAROME.、CHILL OUT の育成ブランド等の売上高は引き続き堅調に推移するものと見込んでおります。

営業利益につきましては、主力ブランド及び育成ブランドにおける更なる認知度の向上のための広告投資に加え、中国子会社における当社ブランドの認知度拡大に向けた広告投資を計画しております。

このような状況を踏まえ、通期連結業績予想を上方修正いたしました。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により事業環境が変化し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

(注) 本資料における業績予想は、公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上